臨床研究の実施に関する情報公開

静岡県立こども病院では、2025年3月25日付けで倫理委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施します。関係各位の御理解と御協力をお願い申し上げます。

研究の拒否	患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために試料・情報が使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。
研究課題名	小児脳神経外科手術における外視鏡導入の影響
研究機関名	静岡県立こども病院
研究責任者	脳神経外科 石崎 竜司
研究期間	2025年2月～2028年
対象者	2024年10月より当院で外視鏡手術を行った患者さんを対象にしています。
当該研究の意義・目的	脳神経外科領域手術では、手術用顕微鏡やサージカルルーペ、神経内視鏡など各種機器が利用されます。その目的は術操作部の拡大観察によって可能となる微細操作、結果としての神経組織温存があげられます。本邦は1960年代以降特に顕微鏡手術が普及しましたが、その補完・代替として外視鏡利用が成人の領域で近年普及しています。その背景には、旧来の顕微鏡手術と比較した操作性・観察範囲、術者に与える身体負荷、後進教育、手術記録デバイスとしての利点があることなどが考えられています。当院は2024年10月に外視鏡手術の導入を行いました。同使用による脳外科診療の変化や及ぼす影響について検討します。
方法および研究で利用する試料・情報について	対象となる患者さんの診療録（カルテ）から次の情報を調査し、共同研究機関に提供します。 <ul style="list-style-type: none">・手術関連情報・臨床情報
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の間合せ先にご相談ください。
資料の閲覧について	あなたからのご要望があれば、この研究において開示が可能であると考えられる範囲内で、この研究の計画や方法についての資料をご覧いただくことができます。
研究代表施設・代表者	静岡県立こども病院 脳神経外科 永井 靖識
問合せ先	◆その他、この研究に関するお問合わせ、苦情等ございましたら下記へご連絡ください。 静岡県立こども病院 脳神経外科 永井 靖識

代表 054-247-6251